

平成28年度

門真市健全化判断比率審査意見書

門真市監査委員



門 行 監 第 5 1 号
平 成 29 年 8 月 24 日

門真市長 宮 本 一 孝 様

門真市監査委員 溝 端 稔
同 武 田 朋 久

平成 28 年度門真市健全化判断比率審査意見書の提出について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項の規定に基づき、審査に付された平成 28 年度健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を審査した結果、次のとおり意見を提出する。

平成 28 年度決算に基づく健全化判断比率審査意見書

I. 審査の対象

健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)及びその算定の基礎となる事項を記載した資料

II. 審査の着眼点

審査にあたっては、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した資料が、関係法令等に従い適正に作成されているかどうか確認し実施した。

III. 審査の実施内容

健全化判断比率審査は、都市監査基準に準拠し、実施した。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により提出された、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した資料等により照合し、その他必要に応じ関係職員の説明を求める等慎重に審査を行った。

IV. 審査の実施場所及び日程

審査日 平成 29 年 8 月 23 日(水)午後 2 時 30 分～
実施場所 門真市役所第 3 会議室

V. 審査の結果及び意見

審査に付された、平成 28 年度決算に基づく健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した資料は、関係法令等に従い、いずれも適正に作成されていると認められた。

なお、各比率の早期健全化基準、財政再生基準及び前年度との比較については、次表のとおりである。

(単位:%)

健全化判断比率	平成28年度	早期健全化基準	財政再生基準	参考(平成27年度)
① 実質赤字比率	—	11.96	20.00	—
② 連結実質赤字比率	—	16.96	30.00	—
③ 実質公債費比率 (3カ年平均)	6.8	25.0	35.0	7.4
④ 将来負担比率	59.6	350.0		44.2

※ 実質赤字比率及び連結実質赤字比率については、実質収支額または連結実質収支額が黒字であるため、「—」で表記している。

①実質赤字比率について

実質収支額が黒字であるため、算定されていない。

②連結実質赤字比率について

連結実質収支額が黒字であるため、算定されていない。

③実質公債費比率について

実質公債費比率は、前年度に比べ0.6ポイント好転し、6.8%となった。
早期健全化基準の25.0%と比較すると、良好な状態にあると認められる。

④将来負担比率について

将来負担比率は、前年度に比べ15.4ポイント悪化し、59.6%となったものの、早期健全化基準の350.0%と比較すると大きく下回っており、良好な状態にあると認められる。

VI. 是正改善を要する事項

本市の健全化判断比率は、前述のとおりとなっており、いずれも早期健全化基準を下回っていることから、是正改善を要する事項は無い。

今後においても、健全な財政運営に努められたい。